

知りたい！ 先輩の就活経験&失敗談

こんにちは！

チーム「関東居住者」です！

就活生の皆さんいかがお過ごしですか？学祭シーズンに入り、就職活動への焦りや不安を感じることが多くなる時期かもしれません。そのような時は、是非一度家族や友達と過ごしてリフレッシュするのがおすすめです！さて、今回の記事では就職活動を終えた2025年卒内定者5名の経験談&失敗談をまとめました。

それぞれ違った経験談&失敗談を紹介していますので、これまでの就活が上手くいっている人もそうでない人も、内定者の経験談や失敗談から就職活動のコツを学び、今後に活かしてみてください！



Sさんの経験&失敗談

私は就職活動を通じて、**幅広い業界・業種を見ることの大切さ**を実感しました。就職活動をしていると、どうしても学生の間で人気がある業界に目が行きがちです。しかし、私が就職活動を通じて感じたのは、**今まで興味を持っていなかった業界や業種の中に新たな出会いがある**ということです。私の場合、就職活動を始めた当初は金融業界に全く興味がありませんでしたが、初めて参加した合同説明会で三菱UFJ信託銀行を知り、そこで実際に話を聞いたことで事業内容や業務に興味を持ちました。その他にも、例えば飲食やコンビニ、ハウスメーカーなどの業界にも目を向け、今まで知らなかった業種や事業内容に興味を引かれることも何度かありました。就職活動は周囲に流されやすい時期でもあります。こういった形で**幅広い業界を見ることで新たな業界と出会い、その中から最終的に自分が将来的に働きたいと思える企業を探していく**という作業が、就職活動を通じて大切なことだと感じます。読者の皆さんも、是非広い視野をもって自分に合った企業を見つけてみてください！

また、就職活動における失敗としては、複数業界を見ていたからこそ、インターンシップなどに応募する際になぜその業界に興味を持っているのかについて、具体性を持った理由がうまく書けなかったことが挙げられます。やはり表面的な興味だけでは具体性に欠けるため、**早い段階で何故その業界に興味を持ったのかを、自分の過去の人生経験などを振り返って固めていくことが大切だ**と知りました。そのためにも、自分のあらゆる人生経験を一度書き出す形で振り返り、早い段階で自分自身を理解することが就職活動の中でも特に重要であると思います。過去の経験を自ら掘り下げることはなかなか難しいので、是非第三者に協力を仰ぎ、より客観的な自己像を把握できるよう心掛けてみてください。

就職活動は、**自分に合った1つの企業を見つける時間**です。皆さんが充実した時間を過ごし、「ここだ！」と思える企業に出会えることを心から願っています。



Mさんの経験&失敗談

まずは様々な業界や企業について知り、視野を広げることをおすすめします。視野が広がることで、自分自身の興味や軸が明確になってくるからです。

また、様々な企業の情報を得たり、ざっくばらんに社員に質問できるのは、就活生の特権です。この特権を活かし、社会全体のことをたくさん学び、様々な人と話をしてみるといいと思います。

また、就職活動は自分自身について深く考える良い機会でもあります。今後の人生をどのように歩み、またこれまでの経験を振り返り、自分がどのような人間なのかを考えることに時間をかけられるのもこの時期ならではの経験だと思います。

一方で、私は就職活動をほぼ1人で進めたことがもったいなかったと感じています。あまり交友関係が広くなかったため、主にインターネットの情報を頼りに進めましたが、社会人の方や先輩、友人など、悩んだときに頼れる人が周りにいたほうが良かったと思います。行き詰ったときの助言はきっと解決への糸口につながることもあり、気持ちが楽になることもあると思います。

就職活動はどうしても億劫に感じる人が多いですが、せっかくの機会なので後悔のないように、できれば楽しみながら過ごしてほしいです！

Tさんの経験&失敗談

私の場合、就職活動を通じて良かった点は主に2つあります。

1つ目は、「夏の早い時期から幅広い業界を見てきたこと」です。秋冬に新しく業界を広げるなど遠回りをせずに、夏から効率よく興味のある業界を絞ることができました。業界を絞るだけでなく、新たな興味のある業界を見つけるのにも役立ちました。

2つ目は、「友人とともに就職活動を進めたこと」です。私の場合はゼミの友人と共にエントリーシートを書く練習や、面接練習をお互いに行っていました。自分では気付けない面接の悪い癖を指摘してもらうとともに、友人の良い点を吸収することができました。また、友人と就職活動を進めるメリットは選考対策だけではなく、

最も大きなメリットは、精神的な支えが得られることです。就職活動を通じ、多くの企業から不採用通知を受け、精神的に辛くなることもあるでしょう。私も3社連続で最終面接で落とされ、気持ちが落ち込んでいた時期がありましたが、友人の励ましのおかげで立ち直ることができました。そのため、友人と一緒に就職活動を進めることを強くおすすめします。

その一方で、悪かった点も2つあります。

1つ目は、「**OB訪問を本選考の直前に行ってしまったこと**」です。本選考直前は、他の就活生もOB訪問を始める時期なので、社員の方との**日程調整**が難しくなります。OB訪問は、直前ではなく、早い時期から始めるべきだったと思います。

2つ目は、「**エントリーシートを提出しただけで満足してしまったこと**」です。選考を突破するには、エントリーシートだけでなく、面接やグループディスカッションをクリアする必要があります。しかし、私は夏インターンシップの選考が始まる前までエントリーシートの対策に時間をかけすぎ、面接対策が疎かになっていました。そのため、バランスよく準備することをおすすめします。特に面接練習はどの企業の選考でも活きるので徹底的に取り組むべきだと思います。

就職活動の最終的なゴールは、**複数の内定を獲得することではなく、自分に最も合ったたった1つの企業と出会うことです。**皆さんが理想の企業に巡り合えることを心から願っています。



Kさんの経験&失敗談

私は面接への臨み方と自己分析についてお伝えしたいと思います。

この時期になると、夏インターンシップなどを経て志望する業界・企業が漠然と絞れてきた人もいるかと思います。応募する企業から内定をいただくためには面接を受けなければいけませんが、面接に苦手意識がある人も多いのではないのでしょうか。私もその1人でした。上手く答えられなかったらどうしようと、面接はとても緊張してしまいますよね。**質問の受け答えに「正解」はありません。**私の個人的な考えですが、面接は自分がどのような人なのか考え方や人柄を伝える場であり、企業と就活生の相性を見極める機会であると思っています。

そんな私も、インターンシップの面接では、模範解答のような受け答えをつい意識してしまい、通過率が良くなかったですが、**等身大の自分を表現**しながら面接に臨むと、次第に通過率が良くなりました。もし面接で通過しなかったとしても、**人柄や能力を否定されたのではなく、ただ相性が合わなかっただけ**だと、就職活動を終えた今感じています。誰しも自分を良く見せたいと思うものですが、ありのままの自分を見せることは長い目で見たときに自身に合った企業と結果的に巡り合えるのではないかと思います。

面接に臨むにあたり大切なことは、**徹底した自己理解**です。ぜひ、周囲の人を頼ってみてください。私はインターンシップ選考で結果が芳しくないとき、悲観的になりひどく落ち込んでしまうことがありました。自分の長所とは何か、もはやないのかもしれないと1人で苦しみ、精神的にとっても追い詰められていました。そのような時は、**1人で思い詰めず、周囲の人を頼ってみましょう。**少し恥ずかしさがあるとは思いますが、私は友人と一緒に自己分析、**他己分析**をすることで、知らない自分の一面を他人を通じて知ることができました。自分では当たり前、大したことがないと思っていることでも長所を持っていること（逆も然り）は十分にあり得ます。

私は他己分析を通じて、自分が客観的にどのように見えているのかを知ることができ、その深い自己理解はその後の会社選びや面接対策など就職活動を進める上で大いに役立ちました。

このブログを読んでくださっている皆さんが、ご自身に合った1社に出会えることを願っています！

Yさんの経験&失敗談

就職活動を振り返ってよかった点は、**OB訪問をたくさん行ったこと**だと私は考えています。なぜなら、志望理由の厚みが増すだけでなく、その企業の社風や求めている人間像が理解できることもあれば、面接の時の自信に繋がることもあるからです。実際に、私はOB訪問でお会いした社員さんに自分の志望理由について聞いていただき、添削をお願いしていました。それにより、その企業の社員さんの箔付きの志望理由を面接で話せるため、自信と余裕を持って面接に挑むことができました。また、採用面接でよく見られる点として、「**志望理由**」と「**自分と企業の相性**」の2点があると私は思います。OB訪問を行うことで、志望する企業がどのような人間を求めているかも学ぶことができるので、上記の2点を勉強できて面接対策にバッチリなのでとてもおすすめです！

一方で、自分の悪かった点は**インターンシップで選考に通らなかった企業を心の中で諦めてしまったこと**です。企業によるとは思いますが、インターンシップに参加できなくてもOB訪問や選考対策をすることで、本選考で内定をいただくことができると思います。しかし就職活動の途中で自信をなくして、対策が疎かになってしまったり、面接で不安が顔に表れてしまったりすると可能性が狭まってしまう。とてももったいないので、最初から前向きに捉えていたら良かったと反省しています。



最後に

最後まで記事を読んでいただきありがとうございます。2025年卒内定者の就職活動の経験談&失敗談はいかがだったでしょうか。就職活動は苦しく大変な時期もありますが、同時に他では得られない貴重な体験もできると思います。最後まで読んでくださった就活生の皆さんも、就職活動という山を乗り越えるだけでなく、振り返った時に貴重な経験を得られたと思えるよう、チーム一同心から応援しています！

さて、いよいよ次回が最後のブログ配信になります。今回と同じく新たな2本の記事を配信しますので、こちらも是非読んでいただけると嬉しいです。

では、また次の記事でお会いしましょう！